

# 緩和ケアだより

第7版  
平成27年10月7日  
公立八鹿病院緩和ケア病棟



暑かった夏も遠ざかり、秋空にコスモスやススキがやさしくゆれ秋の訪れを感じます。11病棟では7月に「七夕会」9月に「お月見会」を開催しました。患者様・ご家族そしてスタッフが心を合わせ、日本の季節の行事に参加しました。お茶会では、日本人で良かったね、あらためてそう感じるひと時でした。どうかその様子をご覧ください。

## 七夕会を終えて

7月7日 七夕会を行いました。職員の踊る炭坑節で始まった七夕会、その輪にご家族も参加され、一気に夏祭りムードが盛り上がります。魚釣りのゲームでは病室での姿とは打って変わって慣れた手つきで竿を握り次々に魚を釣り上げる男性患者さん、ヨーヨー釣りでは少女に返ったようにゲームに興じる年配の女性患者さんの姿も見られました。そして、用意した笹竹には患者さん、家族の願いを書いた短冊が結ばれ、和やかな雰囲気の中楽しい時間が過ぎていきました。



## お月見会を終えて

厳しい暑さもようやく和らぎ、秋の気配を感じはじめた9月8日、11病棟のお月見会を行いました。今年は、お一人の患者様のお力添えで本格的なお茶会を開くことができました。ススキや秋明菊などの秋の花々に囲まれる中、参加者一人一人のために抹茶をたていただき、入院中の患者さんやご家族、そして私たちスタッフにとっても貴重な体験をさせていただきました。また、新たに11病棟に加わった臨床心理士による紙芝居も行なわれ、語られるお月見の由来に皆、子供のように聞き入っていました。変化の少ない病院での生活ですが、皆様のお陰で素敵な会を開くことができました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



## 臨床心理士より

皆さん、こんにちは。緩和ケア病棟に8月から入職いたしました、臨床心理士の石塚幸作と申します。さて臨床心理士とは聞き慣れない言葉かもしれませんが、カウンセラーと言った方が馴染みがあるかもしれません。臨床心理士はゆっくりと時間をとり、病気に伴う悩みや辛さなどのお話を聴きます。カウンセリングと呼ばれるものですが、心の健康相談と捉えてもらう方が分かりやすいかもしれません。お話を聴くことを通して、気持ちを整え、どのようにするのがいいか、ご本人さんと一緒に考えていきます。お一人で抱え込まないように、相談しやすい関係を築くために、私からも声を掛けさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

～編集後記～

秋といえば、やっぱり食欲の秋ですね？ 病棟の庭園で収穫したさつまいも・えだまめです。とってもおいしそうでしょう。みかんも鈴なりです。皆さんも ご賞味あれ 文責：谷口



私が臨床心理士の  
石塚幸作です